

学校運営協議会(全日制部会)議事録

校 名	府立藤井寺工科高等学校
校 長 名	松本 悠紀夫

開 催 日 時	令和 8 年 2 月 20 日 (水) 15:30 ～ 17:00
開 催 場 所	本校 会議室
出 席 者 (委 員)	会長、委員5名
出 席 者 (学 校)	校長、教頭、事務部長、教員12名
傍 聴 者	無し
協 議 資 料	学校経営計画、学校状況報告(各部、各学年)等
備 考	

議題等(次第順)

- (1) 挨拶
- (2) 報告
 - ・生活指導部 保健相談部 総務部 進路指導部 第3学年 第2学年 第1学年
 - ・学校教育自己診断の結果について
 - ・令和7年度学校評価及び令和8年度学校経営計画について
- (3) 協議
- (4) 連絡事項
- (5) その他

協議内容・承認事項等(意見の概要)

【資格取得】

- 資格受験させるための動機づけはどのようにしているか。また、受験者を増やすためにどのような広報をしているか。
⇒授業等をとおして、コンクールや資格について興味・関心が持てるように適宜案内を行っている。また、各資格の担当が案内用のチラシを作成し、各クラスで掲示し広報を行っている。
次年度は、1年生で工業の基礎的な検定である計算技術検定4級を受験させ資格・検定の取組の導入として学習方法や成功体験を感じさせるよう指導を行っていく。
また、今年度までは保護者向けの資格・検定に係る案内を行っていなかったが、締切日や資格内容がわかるように保護者に連絡を行い、保護者からも生徒に対して受験を促していただく。
- 就職試験の時に資格を持っていない生徒もいるのか？
⇒今年度は把握できていないが、本校在籍中に資格・検定が取得できていない生徒は少数ではない。
- 年度によって全員受験したり、しなかったりするのなぜ？
⇒コロナの時期に全員を一か所に集めて指導することが難しかった。また、働き方改革や2年以降のクラス編成を系ミックスにしたことが影響したと考えられる。来年度からは、2年以降のクラス編成を系別専科ミックスに戻すため、系ごとの資格・検定の指導が行いやすくなると考える。

【学校 PR】

- 生徒数が減っているため、企業と連携して生徒の作業着に企業ロゴを入れることで PR につなげることはできないか。
⇒作業服に企業ロゴを入れても学校外で着ることがないため企業にメリットが少ない。企業からの寄付は、大阪教育ゆめ基金を活用して本年度、熱中症対策として工科高校に空調服の寄付があった。
部活動においては、大阪高等学校体育連盟の規定などがあるためユニホームに企業ロゴを入れるのは難しい。練習用であれば可能であると聞いている。

【生徒状況】

- 1年生で30日以上休む長欠生が多く感じる。何日以上休んだら進級できないのか。

⇒教科ごとに授業時間数の1/3以上休むと未履修になり進級ができなくなるが、欠席日数だけで進級できないという規定はない。

- 中学校でも不登校生が多くなっている。その生徒の多くは通信制に行く傾向が強いが工科高校に入って、なんとか卒業することはできるか。

⇒不登校にならないように指導は行うが、不登校になった生徒に対しては、本校も含め大阪府立の学校では、遠隔授業等に対応ができる仕組みがある。ただし、実習科目については、何らかの方法で受けていただく必要はある。

中学校で不登校であった生徒も入学しているが卒業している生徒も多い。

- PTAと生徒と一緒に花壇の植え替え等で協働できる機会があればよい。

⇒時期が合えばぜひ協働して行っていただきたい。担当者に伝えておく。

- 令和7年度学校評価及び令和8年度学校経営計画について学校運営協議会の委員の承認をいただいた。

次回の会議日程

日時	令和8年 5月頃
会場	本校 同窓会館 2階